

城北まちづくり通信

2021 / 10 / 12
23号
城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

みんなで万歳!! 城北文化祭 (10月30日・31日)

コロナ警報発令中の8月17日に、文化祭実行委員会を立ち上げ、万全の感染症対策をとった企画で4部門(総務・作品展示・ステージ発表・イベント)に分かれて活動を進めてきました。テーマには、「みんなでつろう 文化のまち 城北」を掲げ、次の2点を申し合わせて企画・運営しました。

- 生涯学習や地域活動の成果を発表し“交流し合う場”とすること。
- 生涯学習や地域活動への“参加を促進する場”とすること。

同時に、『まちづくり「絆」抽選会』を同日開催とし、多くの住民が足を運び、住民同士の顔の見える人間関係を構築する機会とすることを確認して運営しました。



■城北太鼓 (オープニングセレモニー)



■受付 (検温・来場者名簿記載)



■家族連れでの来場者



■利尻の物産販売 (秋里・利尻交流)



■JJS活動 (シラズリボン)



■まちづくり「絆」抽選会



■作品展示 (絵手紙教室ほか)



■ものづくりコーナー (しおり作りほか)



■ひおき物産展 (野菜ほか)



■焼き芋 (城北ボランティアひまわり隊)



■花の苗 (西根園芸)



■石巻缶詰 (災害ボランティア「コスモス」)

私たちが今日からできる“SDGs”

エスディーゼーズ

ここ数年、「SDGs」とか、バイオマス・カーボンニュートラルという用語を、テレビ等のメディアで頻繁に目にするようになりました。一口に言えば、SDGsとは、持続可能でよりよい社会を実現するため、世界で取り組むべき17の目標なのだそうです。

正直なところ、「人類が取り組むべき課題・・・。」と聞いても、遠い世界のこのように感じて、聞き流していた自分がありました。

しかし、身近なところでの貧困、世界各地の紛争、度重なる自然災害、コロナ感染症など・・・。これまでになかった出来事が、頻繁に起こっています。

SDGsを、1人ひとりが自分事として考え、それぞれの立場で出来ることから始めることが重要だと考えるようになりました。城北まちづくり協議会の事業展開にあっても、今後、SDGsを意識した話し合いを進めなければならないと考えています。

※「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」

レベル1 家にいてもできること

- 小まめに照明を消して電気を節約する
- 使っていない電気機器はコンセントを抜く
- 持続可能で環境にやさしい取組をインターネットで検索し、実践する
- 食べきれない食材は冷凍する
- エアコンの温度は、冬は低め、夏は高めに設定する
- 紙やプラスチックはリサイクルする



レベル2 家の外でできること

- 買い物は地元で、地域の企業を応援する
- 買い物にはマイバッグを持参する
- 飲み物のテイクアウトは、マイボトルを使用する
- 国や地方の選挙に参加する *城北地区投票率(H30.11.18市議会選挙): **37.54%**
- できるだけ簡易包装の商品を選択する

レベル3 職場でできること

- 通勤は、なるべく徒歩や自転車、公共交通機関で
- 働きやすい職場づくりについてみんなで話し合う
- 差別やハラスメント(嫌がらせ)行為を許さない職場づくりをする
- マイカップ、マイ箸を持参し、ごみを減らす

(鳥取県 令和新时代創造本部 政策戦略監 新时代・SDGs推進課ホームページ『私たちができること』より一部抜粋)

まちづくり事業

- ◎ 11月6日 そばの収穫体験(日置交流)
- ◎ 11月15日 日南ツアー(視察)
- ◎ 11月19日 マルシェ *とれたて野菜、山菜おこわ、石巻サバ缶、焼き芋ほか
- ◎ 11月28日 ケヤキ通りの清掃 *午前8時~ ※雨天中止
- ◎ 第2回 城北げんきフォトコンテスト
 - 応募締め切り 2021年11月30日
 - 写真の募集テーマ 『伝えたい 私が知ってる“城北の takara”』
 - 部門(2021年) ■環境部門 ■ひと部門